

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和2年3月10日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をいたします。

まずは、1番の「原子力規制委員会について」。一番上から参ります。

(1) 第69回原子力規制委員会、議題は6つございます。

議題の1つ目です。「国際規制物資の使用等に関する規則の一部改正及びこれに対する意見募集の結果について（案）」、こちらは1月22日の原子力規制委員会におきまして、国際規制物資の使用等に関する規則の改正案について、意見募集の実施が了承されました。今回、その結果を報告するとともに、規則の改正の決定について委員会に諮るものです。

続きまして、議題2です。「原子力規制委員会組織規則の改正について」、こちらは4月に施行される改正原子炉等規制法や令和2年度機構定員要求の結果を反映するほか、原子力規制庁の所掌事務を整理するために原子力規制委員会組織規則の改正案を報告するとともに、その決定について委員会に諮るものです。

議題の3つ目です。「クリアランス規則等の見直し案及びそれに対する意見募集の実施について」、こちらは昨年11月27日の原子力規制委員会におきまして、クリアランスに係る原子力規制委員会規則と審査基準の見直しの方針について、委員会ですら承されました。その方針を踏まえた規則と審査基準の改正案を報告するとともに、その意見募集の実施について委員会に諮るものです。

議題の4つ目です。「発電用原子炉施設のデジタル安全保護回路に係る共通要因故障対策の強化について（検討チームにおける検討結果の報告）」、こちらはデジタル安全保護回路のソフトウェアに起因する共通要因故障対策に関しまして、昨年来、検討チームを設置して事業者の意見を聴取しながら、現行規制の見直しの方向性について検討してまいりました。今回、その検討結果を報告するとともに、今後の作業方針について委員会に諮るものです。

議題の5つ目です。「国際原子力機関（IAEA）の総合規制評価サービス（IRRS）フォローアップミッション後の対応について」、こちらは本年1月に実施されましたIRRSフォ

ローアップミッションに関しまして、ミッションチームとの議論の過程で指摘された各課題への対応方針を委員会に諮るものです。

議題の6つ目、最後になります。「令和元年度マネジメントレビューについて」、こちらは令和元年度における原子力規制委員会のマネジメントシステムの実施状況について委員会に報告し、了承いただくものです。

次に参ります。

その下、(2) 第70回原子力規制委員会臨時会議、議題は「BWRプラントにおける原子炉格納容器の過圧破損防止対策に係る審査の進め方について(案)(2回目)」、こちらは2月25日の原子力規制委員会臨時会議で継続審議となりました特定重大事故等対処施設に係る原子炉格納容器の過圧破損防止対策について、改めて議論を行うものです。

その下、(3) 第71回原子力規制委員会臨時会議、議題は「日本原子力発電株式会社東海第二発電所の発電用原子炉の設置変更許可等に係る審査請求及び執行停止の申立てに対する決定について」、こちらは日本原電・東海第二発電所に関する審査請求等について、審議と採決等を行うものです。

原子力規制委員会の関係は以上となります。

続きまして、2番の審査会合の関係です。1枚飛ばして3ページ目を御覧ください。一番上から参ります。

これは3月12日木曜日のものです。(6) 第847回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは山中委員と石渡委員の合同の対応となります。こちらの議題は2つございます。

1つ目が、関西電力・高浜発電所1号機、2号機、3号機、4号機の設置変更許可に関しまして、警報なし津波についての1月21日の会合のコメント回答を受けるものです。

もう一つは、九州電力・川内原子力発電所1号機、2号機の設置変更許可に関しまして、廃棄物搬出設備の設置についての1月31日の認可申請について、概要説明を受けるものです。

続きまして、今度は一番下に参ります。3月16日月曜日、(10) 第79回特定原子力施設監視・評価検討会、こちらは伴委員と田中委員の対応となります。議題は主に5つございます。

議題の1つ目ですが、こちらは3月4日の原子力規制委員会で改訂されました、福島第一原子力発電所に係る中期的リスクの低減目標マップについて、規制庁から説明を行うものです。

議題の2つ目です。こちらは東日本大震災前後に福島第一原子力発電所構内に設置された設備の長期保守計画を策定するよう東京電力に求めておりますが、昨年9月2日の検討会で説明を受けた後の進捗について説明を受けるものです。

議題の3つ目です。こちらは1号機、2号機の廃棄物処理建屋や3号機のタービン建屋などに雨水が流入する問題に関しまして、その対策の進捗について説明を受けるものです。

議題の4つ目です。こちらはいわゆるALPS処理水のタンク群の分析結果に関しまして、こちらには「全ベータ値」とございますが、いわゆる全ベータ放射能測定法による測定値と主要7核種の合計値の乖離が大きいタンクにつきまして、昨年6月の検討会以後に東京電力が調査・分析した結果について説明を受けるものです。

議題の5つ目です。こちらは福島第一原子力発電所に隣接して設置が予定されている放射性物質分析施設の体制や能力の構想について説明を受けるものです。

1枚おめくりください。4ページ目です。

(11) 第343回核燃料施設等の新規規制基準適合性に係る審査会合、こちらは議題が4つございます。

議題の1つ目ですが、こちらは京都大学臨界実験装置（KUCA）の設置変更承認申請に関しまして、核計算の妥当性についての2月17日の会合のコメント回答を受けるものです。

議題の2つ目です。こちらはJAEAの軽水臨界実験装置（TCA）の廃止措置に伴いまして、その使用済燃料を同じくJAEAの定常臨界実験装置（STACY）の核燃料貯蔵設備で貯蔵する計画がございます。それに関しまして、STACYの核燃料貯蔵設備に使用済燃料貯蔵設備を設置する設置変更認可についての1月27日の会合のコメント回答を受けるものです。

議題の3つ目です。これもJAEAのSTACYですが、こちらは設計・工事方法認可に関するものです。こちらはSTACYの新規制基準対応のために核燃料貯蔵設備を改造する計画がございます。その2月17日の会合のコメント回答を受けるものです。

最後になります。議題の4つ目です。日本原子力研究開発機構（JAEA）の研究用原子炉（JRR-3）の設計工事方法認可に関しまして、炉心配管の耐震評価についての1月27日の会合のコメント回答を受けるものです。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。カンダさん。

○記者 時事通信のカンダです。

明日の委員会の議題4の今後の検討というのは、どういうレベルの話をするのですか。

○児嶋総務課長 まず、検討結果で大体具体的な要求事項とか、経過措置はこのようなイメージだという、まず、報告をいたします。それを踏まえまして、恐らく委員会で議論がなされますが、その後、例えば、どのような形で更に内容を深めていくかということを議論するものです。だから、個別具体的な内容を、更に結論を出すものではございません。

○記者 分かりました。

○司会　ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—